

黒崎高丸山校長先生に聞く



丸山校長先生

昨年、創立10周年を迎えた黒崎高校。600人近い生徒が学び、そのうち約3割が黒崎中出身です。丸山哲男校長先生に現状を伺いました。(聞き手は企画開発課五十嵐広報担当です)

創立10周年。地元へ愛される高校に

創立10周年おめでとうございます。まず、学校の教育目標をお聞かせください。丸山校長先生(以下校長)「四つあります。豊かな人間性を養うこと、自主独立の精神を培うこと、健康な心身をつくること、公正な社会性を育てることです。その目標に向かってどのような教育がなされているのでしょうか。校長「一言では言えませんが、学校の授業はもちろん、クラブ活動、行事、PTA活動などすべてがそうです。校長先生は生徒をどう見ていますか。



10月に行われた創立10周年記念式典

創立10周年 校舎完成記念式典

特色ある学校にと太鼓を取り入れています

校長「一人一人は素直で話をすればよく聞いてくれる生徒ばかりですね。団体になると少し規律に欠けるところもありますが、それも高校生として許せる範囲内では、と考えています。

「授業の方はどうでしょうか。新潟学区の普通科ということで、レベルアップに力を入れていくと聞きますが。校長「もちろんです。うちの学校で十分な知識、教養が身につくよう指導しています。三割ほど進学し、新潟大学に進んだ生徒もいます。授業は進学型とか就職型とかに分かれていますか。

校長「一、二年生までは同じで三年生になると進路に合わせて授業を選択させています。マイコンも学べるようになってきました。

「グラウンドや設備が整備され、クラブ活動は活発なものでしょうか。校長「全員加入で、文化系、体育系合わせて三十近くあります。相撲は伝統的に強く、春の大会で優勝しました。神雷太鼓のクラブがあるのですが、

校長「そうですね。危険が高いと判断しています。途中まで乗って来る生徒には指導しています。交通指導も力を入れています。

「修学旅行はどちらへ行くのでしょうか。校長「京都・広島へ四泊五日です。広島では被爆者の霊を慰めるため折りづるを持って行きます。

「文化祭では父母の作品の展示もあります。PTA活動はどうなっていますか。校長「通学地区ごとに十五に分かれています。父母とは個別懇談を持ち、理解を深めるよう努めています。行事のときは協力を心よく引き受けてもらっています。黒崎町から約三割が進学する地元の高校です。入学を考えている父母、生徒に一言お話しください。

〈沿革の概要〉

- 昭和23年6月 新潟県立巻農業高等学校定時制課程として黒崎分校(黒崎中学校に併置)設置。
46年3月 体育館竣工。
50年4月1日 開校。普通科4学級募集。
51年3月 管理・普通教室棟竣工。
54年4月 普通科6学級募集。
55年4月 普通科8学級募集。
59年4月 普通科7学級募集。

〈教職員〉

Table with 10 columns: 校長, 教頭, 教諭, 講師, 養護教諭, 実習助手, 事務職員, 用務員, 計. Values: 1, 1, 46, 1, 1, 1, 4, 3, 58.

〈生徒数〉

Table with 5 columns: 生徒数(普通科), 男子, 女子, 学級数. Values for 1st year: 94, 58, 7. Values for 2nd year: 103, 87, 7. Values for 3rd year: 132, 109, 8. Values for 4th year: 329, 254, 22.

〈59年度卒業生の進路状況〉

Table with 5 columns: 進路, 男子, 女子, 計, %. Values: 就職者 90, 85, 175, 66%; 進学 56, 20, 76, 29%; 自家・自営業者等 7, 8, 15, 5%; 合計 153, 113, 266, 100%.

アジアと日本もつと仲良くなろう

インドネシアの青年、白川さん(善久宅にホームステイ) 昨年十一月、東南アジア青年の船で来日したインドネシアの青年が、善久の白川繁雄さん宅にホームステイしました。この青年はインドネシアで弁護士を営むドニースメワ



右からスメワさん、白川さん、善久さん



言葉はわからなくとも笑顔で

しかなかったが、来日して日本人が親切なことに驚いた。いちばん知りたいことはなぜ日本がアジアの中で唯一一つ先進工業国になれたかということとです」と話しています。雅人さんは「僕も昨年東南アジアを回り、初めて知ったことが多かった、スメワさんもそうだと思う」と言い、日本から同船し、一緒に宿泊した落合雄彦さん(神奈川県)は「9月から船で各国を訪ねると日本が目ざされていると知り、アジアの国々と交流を深める必要性を痛感した。すつかりうちとけたスメワさんから日本語でジジと愛称をつけられた繁雄さんは「人間は同じですね」と笑い「ババ」のヨカさんは「この年になって言葉を覚えたくなりました」と話しています。

等身像 青山久男さん(鳥原一六九)が香典返しに五十万円(図書館と社会福祉協議会に各二十五万円)を寄付されました。 驚尾セイさん(黒島五〇〇)が香典返しに五十万円を社会福祉に寄付されました。 黒崎町商工会青年部が社会福祉に二十万円寄付されました。 荒木清美さん(寺地団地)が図書を送りました。

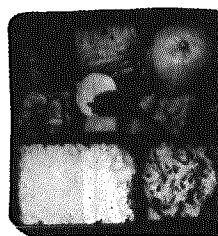


保健委員さんがたんぱい込めて

「ほんとうにうれしいです」と赤塚さん

うれしくてのどを通りません

独り暮らし、老夫婦に手作り給食をサービス 町社会福祉協議会と保健委員会で、十二月九日(月)「手作り給食サービス」を実施しました。これは、独り暮らしや夫婦だけで暮らしているお年寄りに、心のこもったお昼を食べてもらうのと、春から計画していたものです。



「雪がチラチラ寒いですね。あったかいお弁当を食べて寒さなんか吹き飛ばしてください。」

当日は、保健委員さん十八人が中央公民館で野菜とコンニャクの白あいのどを作り、配りました。配

お札の手紙が届いています。金巻の赤塚さん夫婦は「ほんとうにおいしく食べさせてもら

らいました。いつも保健委員さんにはお世話になって、またこんなありがたいことを」と言葉をつまらせていました。今後手作り給食サービスは続けて行く予定です。毎月一回で今年は一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一月、十二月、二十日、三月十四日の予定です。

◆全国保護司連盟会長表彰 大橋 憲司さん 六十八歳 寺地下 昭和三十五年から現在まで保護司として活躍

◆日本顕彰会社会貢献表彰 片岡 マツノさん 七十三歳 鳥原新地 昭和三十三年から現在まで民生委員として活躍

◆県国民年金委員知事表彰 石橋 勝さん 六十八歳 立仏 昭和四十五年から現在まで国民年金委員として活躍